年々減少の一途

事故ゼロの日が9日間も

昨年の交通事故と火災状況

昨年一年間の交通事故と火災の発生状況がまとまりました。交通事故は、一昨年に比べ、件数、死者、傷者とも減りましたが、子どもの死亡事故だけは増え、六人の子どもが亡くなりました。火災では、出火件数、焼失面積、損害額など、一昨年に比べ大幅に減りましたが、死者のみ四人増えて、七人になりました。状況の詳しいことは、次のとおりです。

交通事故

昨年一年間に起きた交通事故は二千二十九件で、最高の昭和四十七年の三千三百三十八件以来、毎年減り続けており、一昨年の二千九十一件に比べても、六十二件減っています。

死者は三十二人で、一昨年より二人減っています。

負傷者は二千四百六十三人で、一昨年より百三十二件減っています。

これまでの死者の最高は四十六年の五十一人、負傷者は、同年の四千二百二十七人というデータが残っており、この年に比べたら、昨年は、いかに交通事故が減っているか、おわかりいただけるかと思います。

負傷者が減った原因は、同乗者なしのドライバーの事故による事故が増えてきているため、とみられています。

子どもの死亡事故 単独事故が多発

昨年の交通事故の顕著な特長は、子どもの死亡事故とドライバーの単独事故が多発したことです。

子どもの死亡事故は、一昨年の一件に比べ、六件も発生しました。

この原因は、主に、母親などの保護者にあるもの、子ども特有の性質にあるものによります。

たとえば、保護者意識の不足の例では、三月初め、バスから先に降りた母親の後を追った六歳の女の子が走り出し、発進しようとしたバスに接触、転倒して、後輪に巻き込まれて死亡。

また、子ども特有の性質の例では、子どもは、ひとつのことに熱中すると、他のものが目に入らない、といった面があり、幼稚園や保育園などから開放されて親の目の届かないところでボール遊びなどに夢中になっていて、飛び出して車にひかれて死亡」などが多く、交通事故ゼロの日が、九日間もあったことです。

ドライバーの単独事故の場合、一昨年に五件だったものが、昨年は九件と四件も増えました。

単独事故というのは、車と車、車と人というのではなく、車もろともガードレールにぶつかるとか、電柱に激突するとか、川の中に飛び込むとか、駐車中の車に衝突するとか、をいい、この九件は、全部死亡事故となっています。

明るい話題として、昨年は、交通事故ゼロの日が、見受けられました。

昭和四十八年が三日、四十九年が五日、五十年が八日と年々増えています。

交通事故は、起こした人も、起こされた人も、将来にわたって悲惨な状態になります。

今年こそは、もっともっと事故を減らし、願わくば三百六十五日、交通事故ゼロの日とするべく、皆さん注意し合いましょう。

火災

昨年一年間の火災発生件数は、過去十年間で一番少なく、百三十三件でした。昭和五十年が百五十九件でしたので、二十六件減っています。

月別にみますと、一月が圧倒的に多く二十四件、次が七月で十五件、四月の十四と続き、一番少ないのが八月の二件でした。

原因別でみますと、たき火、九件、石油ストーブ、たばこ各八件、火遊び七件と続いています。

だきび、たばこ、火遊びによる火災発生は、全国的にも同じ傾向にあり、上位を占めています。

火災の損害額は、約二億九千万円で、一昨年の四億一千二百万円に比べると、一億八千二百万円も減っています。

理由としては、比較的大きな火災が無かったことがあげられます。

建物の焼失面積は六千三百五平方㍍で、一昨年の一万二千百二十七平方㍍に比べ、四千八百二十二平方㍍減少しました。

り災世帯数は百三十五世帯で、一昨年の百六十六世帯に比べ、三十一世帯減少しました。

り災人員も四百四十六人で、一昨年の六百四十七人に比べ、二百一人減少しました。

このように、火災発生件数、損害額、建物焼失面積、り災世帯数、り災人員どれをとってみても、一昨年に比べ、大幅に減っているのですが、ただ、死者だけが七人と、一昨年の三人よりも四人も増えた、という痛ましい結果がでています。

火災のほとんどが人災といえます。ちょっとした不注意で、大きな損失を被ります。市民一人一人、火の用心に心掛けましょう。

発生件数は過去十年で最低

＝死者は七人も＝

九千万円で、一昨年の四億七千二百万円に比べると、一億八千二百万円も減っています。

理由としては、比較的大きな火災が無かったことがあげられます。

建物の焼失面積は六千三百五平方㍍で、一昨年の一万二千百二十七平方㍍に比べ、四千八百二十二平方㍍減少しました。

昭和50年・51年の火災状況

項目	単位	昭和51年	昭和50年	○増 △減
火災発生件数	件	133	159	△ 26
炎上火災件数	件	61	75	△ 14
消止火災件数	件	72	84	△ 12
建物火災損額	円	289,978,000	472,414,000	△182,436,000
建物火災件数	件	117	140	△ 23
建物焼失面積	㎡	6,305	11,127	△ 4,822
焼失棟数	棟	159	217	△ 58
り災世帯数	世帯	135	166	△ 31
り災人員	人	446	647	△ 201
死者	人	7	3	○ 4
負傷者	人	13	23	△ 10
一日平均発生件数	件	0.36	0.44	△ 0.08
〃 損害見積額	円	794,460	1,294,284	△ 499,824
〃 建物焼失面積	㎡	17.3	30.5	△ 13.2
〃 り災世帯数	世帯	0.37	0.45	△ 0.08
〃 り災人員	人	1.22	1.77	△ 0.55
火災1件当りの損害見積額	円	2,180,285	2,971,157	△ 790,872
建物火災1件当りの焼失面積	㎡	53.9	79.5	△ 25.6
市民1人当りの平均損害額	円	678	1,119	△ 441
出火率(人口1万人当り出火件数)		3.1	3.8	△ 0.7

市指定文化財

— 9 —

〔文化財としての種別〕 有形文化財、歴史資料

〔かたち〕 紙本、墨書、巻状、タテ三十六・二㌢ヨコ六十一・五㌢

〔所在場所〕 新潟市郷土資料館

〔何が書いてあるか〕 今からおよそ三百六十年前「古」新潟は砂の村であり、「新」新潟は島の町でありました。新進気鋭の領主堀丹後守直奇は、島の町の発展を計画し、移一味で、島の開拓先駆者が行政の責任者にきれたのです。住希望者には土地をただでくれました。今から考えると夢のような話です。

新潟のきもいりは、屋敷の固定資産税を始め諸役御免の特権を与えられましたが、原文には「右の町の発展を計画し、移一味で、島の開拓先駆者が行政の責任者にきれたのです。住希望者には土地をただでくれました。今から考えると夢のような話です。

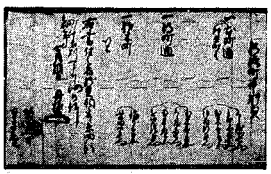
新潟のきもいりは、屋敷の固定資産税を始め諸役御免の特権を与えられましたが、原文には「右

〔きもいりの仕事〕 昔からひとの世話をすることをきもいりと言っていますが、この場合は「庄屋」「名主」というような意

堀直奇文書

～その四～

書付之者、肝煎相定候條、向後、町中才判、可申付候、仍如件」とあって、才判とは裁判のことですから、重大な権限も任せられたわけです。



〔任命された十人の肝煎〕
◎本町通（今の古町通）、片原町（今の東堀通）共
右衛門、玉木彦兵衛、近江屋弥左衛門
◎新町通（今の本町通）
玉木太郎兵衛、くし屋多幡与三兵衛、柴田四郎右衛門
◎材木町（今の上大川前通）
〔自主の町新潟〕西洋でも「港の町に自由あり」と申しますが、港湾都市新潟は、肩で風きる武士のいる城などなく、自主の気風みなぎる町でした。その風潮も堀直奇の自治政策に始まると言っていいでしょう。

（おわり）

介護人を派遣

お年寄りが病気になったとき

ひとりぐらしや家族などの介護を得られないお年寄りが、病気などで一時的に日常生活を営むのがむずかしくなったとき、介護人を派遣する制度があるのをご存知ですか。

病気などで、介護をお願いしたい場合、市老人福祉課へ、電話を一本おかけください。早速、介護人を派遣します。

主に六十五歳以上の低所得者（原則として所得税非課税者）を対象にしていますが、事情によっては、その限りではありません。

なお、介護人は、あらかじめ、近隣の方や知人などに頼んでおいてもらった方がいれば、その方が参りまして、適当な方を派遣します。

介護人は、一か月に一回六日間までをめどに、食事の世話や生活必需品などの買物、身の回りの世話、家の清掃、医療機関との連絡などを行います。

介護をしてみたい方、介護を希望するお年寄りは、市老人福祉課へ、その旨お申し出ください。電話でお申し込みください。

ガスの安全使用と料理講習会

期日 1月18・22・25・29日のうち1回

時間 日・火曜日は午前10時～午後1時
土曜日は午後1時半～4時半

会場 北陸ガス古町サービスセンター2階（古町7）

定員 1回当り18人

講師 料理研究家 佐藤淳子

参加費 300円

持参品 エプロン、筆記用具

申し込み 電話で北陸ガス古町サービスセンター（☎23—0495）へ

松浜地区 新春かるた大会

（百人一首）

日時 1月23日午後1時～4時

会場 松浜入舟自治会館（松浜6）

対象 小学生以上

参加費 100円

賛助出演 春雨会々員（日本カルタ連盟新潟支部）当日、模範演技、指導をしていただきます。初めての方も気軽にご参加ください。

詳しくは北地区公民館（☎59—2721）へ

あなたもご一緒に

＝会員募集＝

☆ギターアンサンブル
日時 毎月第2・3・4木曜日午後6時～8時半
講師 大沢正雄先生
※カルカッシ教本へ長調程度が弾ける人

☆アカシヤコーラス
日時 毎週火曜日午後1時半～3時半
講師 山田勇男先生
※初心者でも可

☆美術、グループみずゑ
日時 毎月第1・2・3木曜日午後6時～8時
講師 山田夏男先生
※初心者でも可

申し込み 中央公民館（☎23—7070）へ
※会場はいづれも中央公民館

工業統計調査 工業実態基本調査 にご協力を

各種行政施策や企業経営などの基礎資料とするため12月31日現在で全国いっせいに製造業の事業所を対象に調査が実施されます。

この調査のため1月10日ころから調査員がお伺いしていますので、ご協力をお願いいたします。

なお、調査内容については統計法によりかたく秘密が守られます。